

萬葉水天書

和歌

編

3023  
1



へ13  
3023  
1-5

へ13特  
3023  
1

東京大学図書印



為永春水作

黄金水大書堂

雄齋國輝画

泉市板

下

上

一雄齋國輝画



二編下

為永春水作



黄金水大盡盆

甘泉堂

上編二

為永春水作  
黃金水  
大盡盃  
一雄齋國輝画



三編下



甘泉堂壽梓

三編上

黄金水大尽盃

二篇下冊

おのゝ  
黄金水作

芝泉市揮



國祥画

一雄鳥

天地の間常られば寢あり那飛鳥川の洲瀬いさらり長安飯店の  
 枕のふにさむれい盧生が夢るる夢も小何色の頃ふりあり  
 紀伊國屋文左エ門との有徳の大商人ありと這一代小貨殖  
 まゝ一代小遣ひをせし一奇人なりとの小夏物小記し俗咸  
 知る其事實に左まれ右まれ佳る奇談と種とし例の冊  
 子小做んぬ婦女子のさる小徒然となまるとゆるらんらと  
 念ひをこし硯の幾けと首ありと尾ある因果應報の理を  
 勸懲の意小愠りと南北兩朝おん和睦のそのひより緯と起して  
 後遂小文左エ門の無常迅速の理と悟りを下りて法性の月と見る  
 まで所謂紀文が盛衰記と長々綴りて開と標題と  
 黄金水大盡盃とい名号をせり

嘉永甲寅歲孟春新局(二)爲永春水誌也



浪客  
櫛街  
橘次郎



乳守里の  
阿曾比玉品



箱

紀州の  
名草  
外酒屋の  
小ヒ

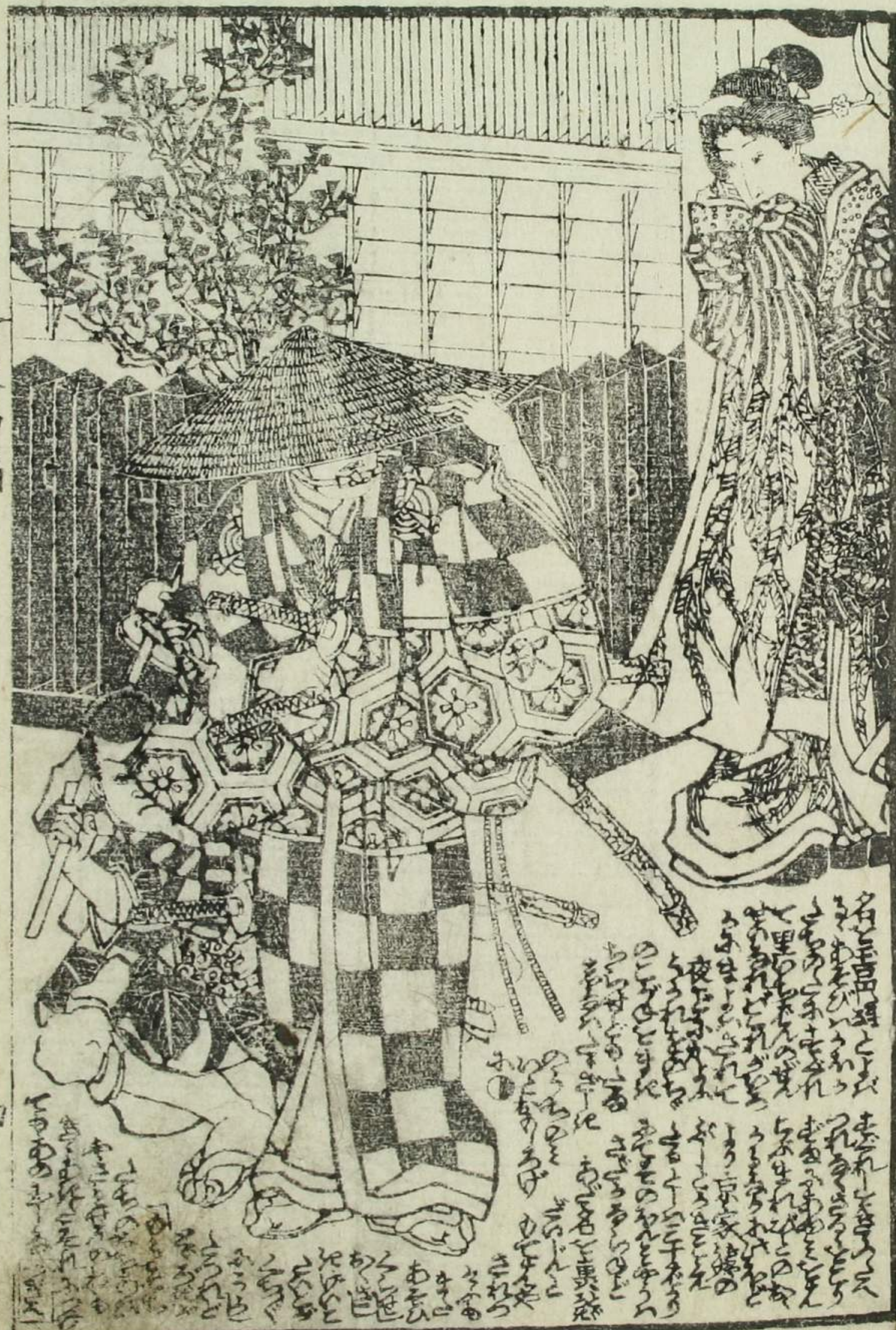
名草文七  
俊小  
紀伊屋文左門



盗賊の首領  
大峰の秋五郎

幫間  
浮世頭巾の宇喜ヒ





八景の

四



この世も人皇  
の御代は後小松院  
の御代は後醍醐天皇  
の御代は南朝の御代  
の御代は北朝の御代  
の御代は室町幕府の御代  
の御代は徳川幕府の御代  
の御代は明治天皇の御代  
の御代は大正天皇の御代  
の御代は昭和天皇の御代  
の御代は平成天皇の御代  
の御代は令和天皇の御代



この女は黄金の  
小初遊の  
名手なり

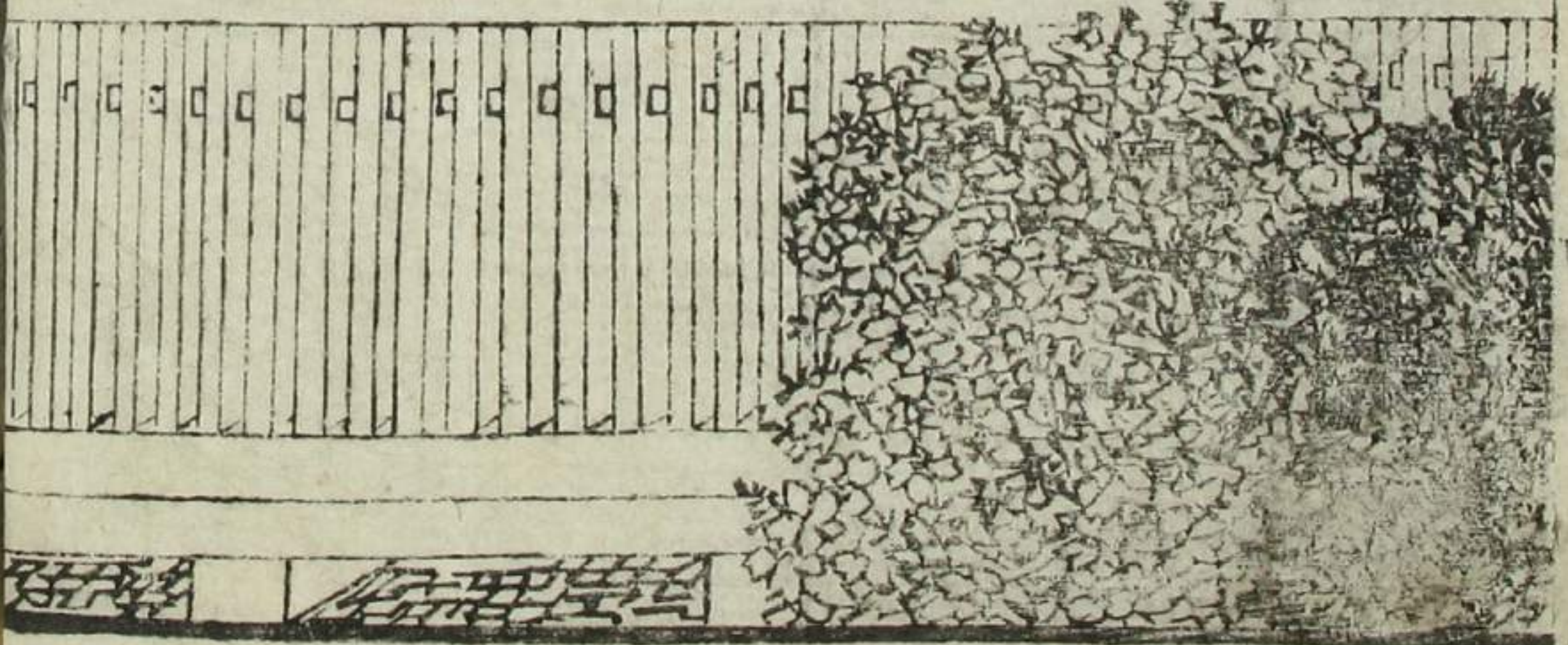
黄金の  
小初遊  
の  
名手なり

黄金の  
小初遊  
の  
名手なり



黄金の  
小初遊  
の  
名手なり

黄金の  
小初遊  
の  
名手なり



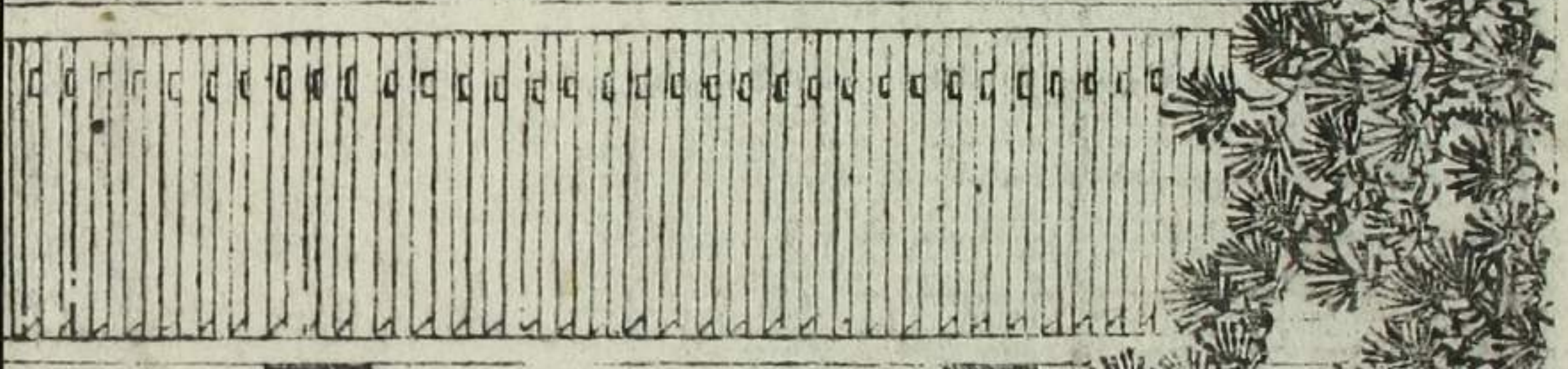


Handwritten text in the upper left corner of the illustration, including the characters 'XIX' and 'XIX'.

Vertical text on the left margin: 青、金、大、刀、編



Handwritten text in the upper right corner of the illustration, including the characters 'XIX' and 'XIX'.



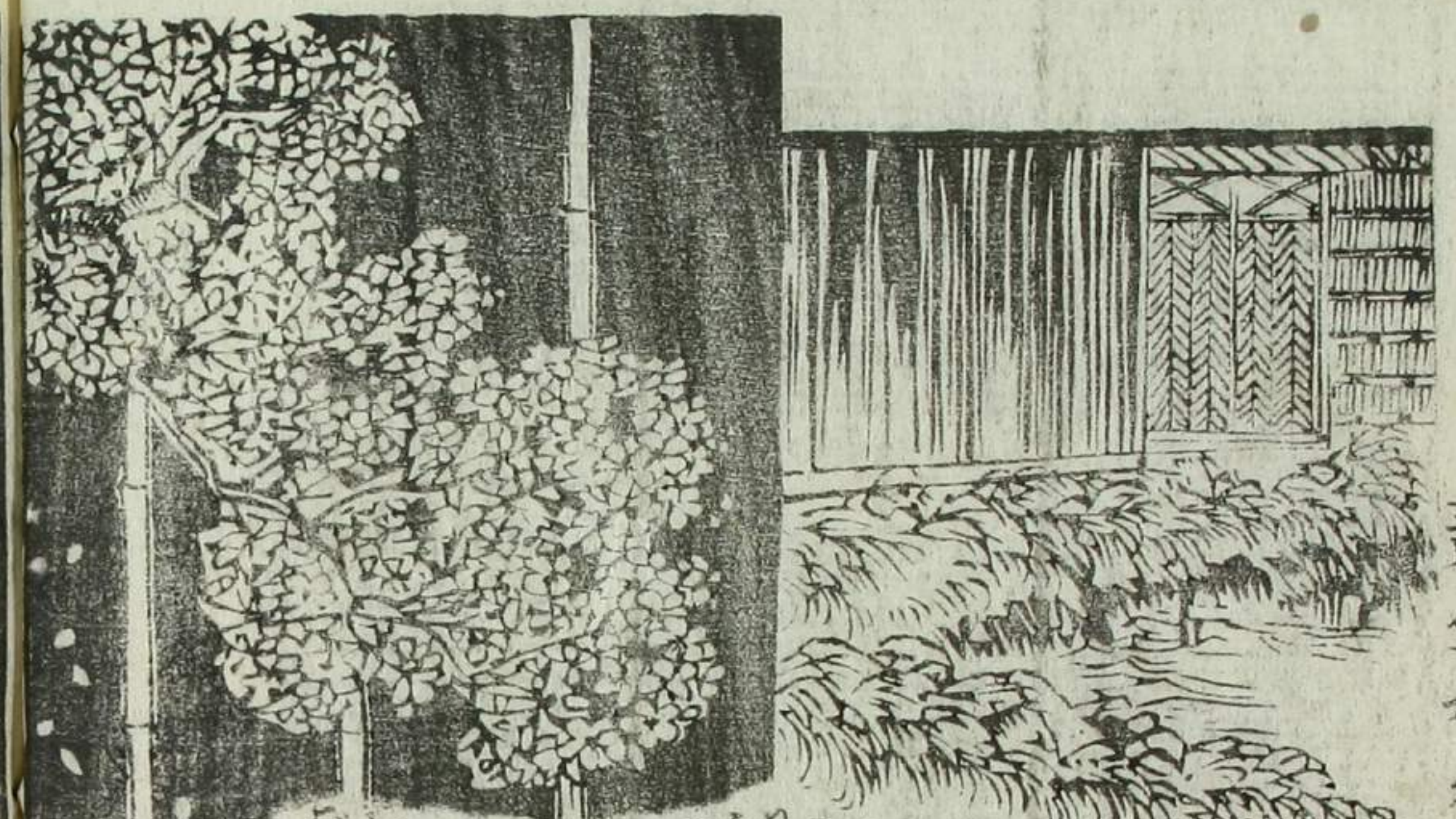
Large blocks of handwritten text in the lower half of the page, arranged in columns and interspersed with small decorative elements.



五  
 此の世に於ては  
 人の心は  
 如くも  
 さまざま  
 なりける  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし



五  
 此の世に於ては  
 人の心は  
 如くも  
 さまざま  
 なりける  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし



五  
 此の世に於ては  
 人の心は  
 如くも  
 さまざま  
 なりける  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし



五  
 此の世に於ては  
 人の心は  
 如くも  
 さまざま  
 なりける  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし

五  
 此の世に於ては  
 人の心は  
 如くも  
 さまざま  
 なりける  
 こと  
 なるべし  
 といふ  
 べし





三町  
五友

あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの



あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの

あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの

あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの



あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの

あはれなる  
さかしの  
あはれなる  
さかしの

あはれなる  
さかしの

あはれなる  
さかしの



國輝画

春水作

四六 日におもひにふりて  
 下るるの空をみれば  
 一とふりてふりて  
 二とふりてふりて  
 三とふりてふりて

あはれなるを  
 おもひにふりて  
 下るるの空を  
 みれば一とふりて  
 ふりて二とふりて  
 ふりて三とふりて  
 ふりて





刀痛



善金小初



新編 浮城物語

お上り  
お下り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り

お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り

111



新編 浮城物語

お上り  
お下り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り

お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り

お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り  
お入り  
お出り



Vertical Japanese text on the right edge of the page, likely a page number or chapter title.





青木十之助



青木十之助

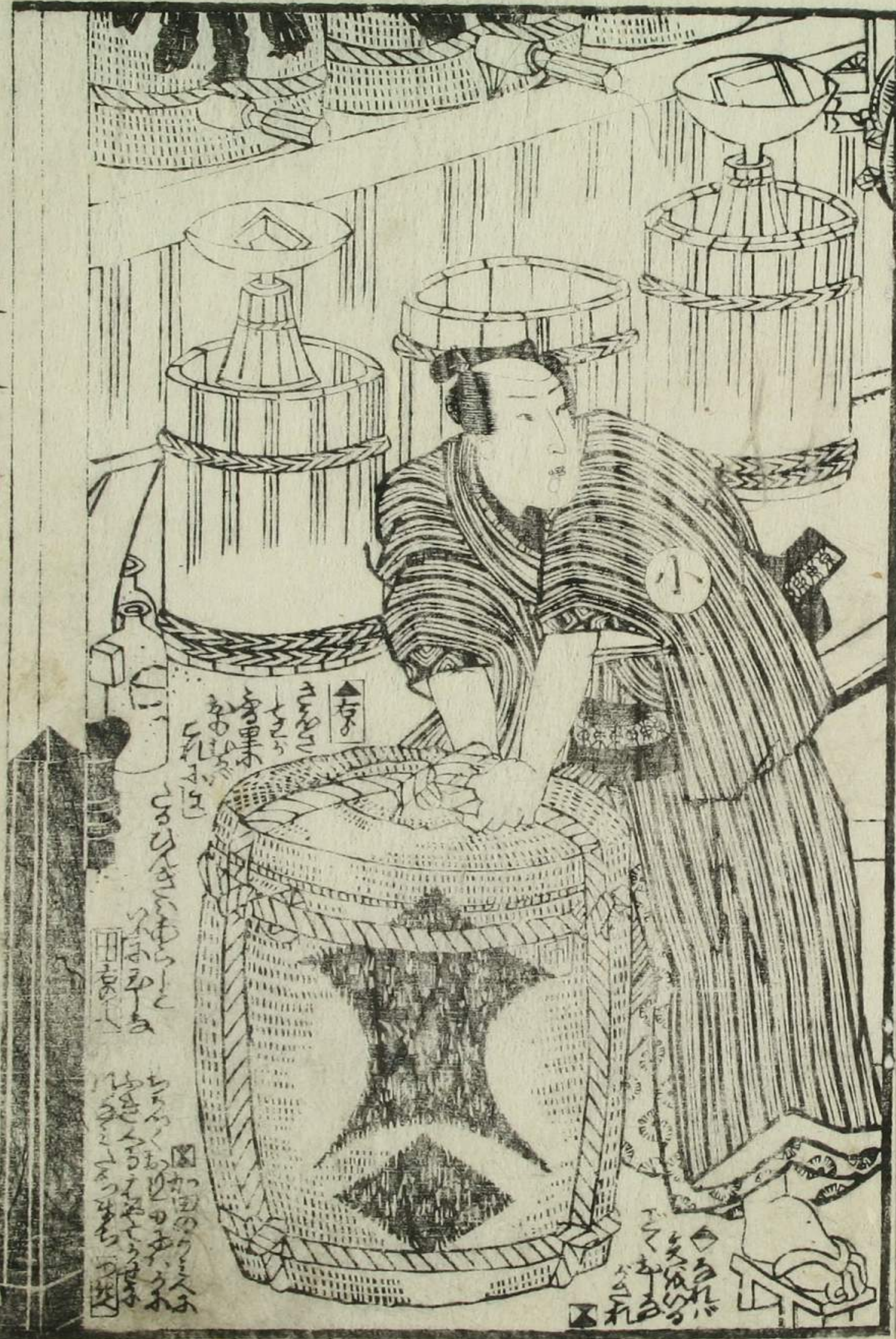
十五



五世金太郎

一ノ段の初ノ巻  
 二ノ段の初ノ巻  
 三ノ段の初ノ巻  
 四ノ段の初ノ巻  
 五ノ段の初ノ巻  
 六ノ段の初ノ巻  
 七ノ段の初ノ巻  
 八ノ段の初ノ巻  
 九ノ段の初ノ巻  
 十ノ段の初ノ巻  
 十一ノ段の初ノ巻  
 十二ノ段の初ノ巻  
 十三ノ段の初ノ巻  
 十四ノ段の初ノ巻  
 十五ノ段の初ノ巻  
 十六ノ段の初ノ巻  
 十七ノ段の初ノ巻  
 十八ノ段の初ノ巻  
 十九ノ段の初ノ巻  
 二十ノ段の初ノ巻  
 二十一ノ段の初ノ巻  
 二十二ノ段の初ノ巻  
 二十三ノ段の初ノ巻  
 二十四ノ段の初ノ巻  
 二十五ノ段の初ノ巻  
 二十六ノ段の初ノ巻  
 二十七ノ段の初ノ巻  
 二十八ノ段の初ノ巻  
 二十九ノ段の初ノ巻  
 三十ノ段の初ノ巻  
 三十一ノ段の初ノ巻  
 三十二ノ段の初ノ巻  
 三十三ノ段の初ノ巻  
 三十四ノ段の初ノ巻  
 三十五ノ段の初ノ巻  
 三十六ノ段の初ノ巻  
 三十七ノ段の初ノ巻  
 三十八ノ段の初ノ巻  
 三十九ノ段の初ノ巻  
 四十ノ段の初ノ巻  
 四十一ノ段の初ノ巻  
 四十二ノ段の初ノ巻  
 四十三ノ段の初ノ巻  
 四十四ノ段の初ノ巻  
 四十五ノ段の初ノ巻  
 四十六ノ段の初ノ巻  
 四十七ノ段の初ノ巻  
 四十八ノ段の初ノ巻  
 四十九ノ段の初ノ巻  
 五十ノ段の初ノ巻

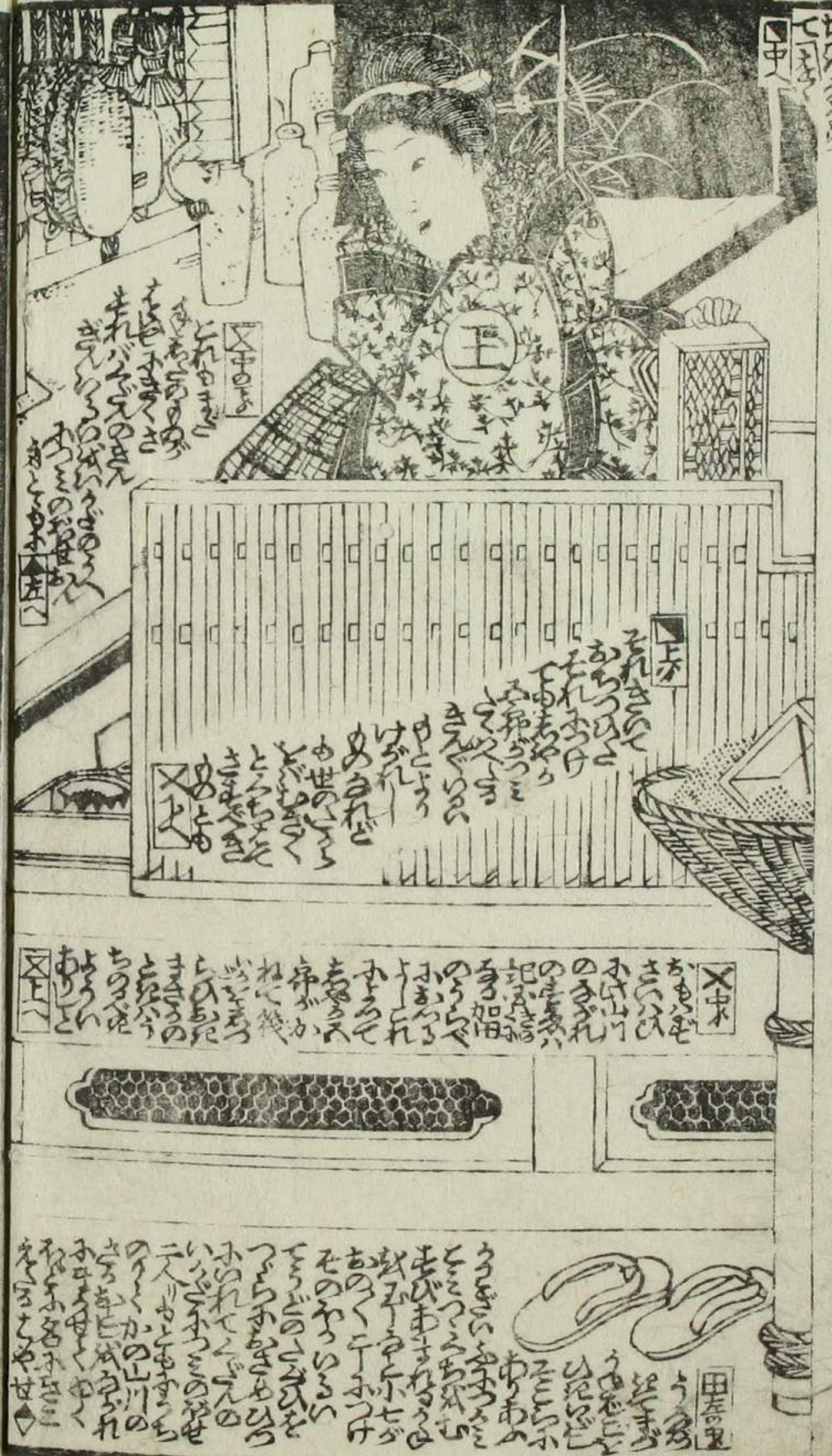
五ノ段の初ノ巻  
 六ノ段の初ノ巻  
 七ノ段の初ノ巻  
 八ノ段の初ノ巻  
 九ノ段の初ノ巻  
 十ノ段の初ノ巻  
 十一ノ段の初ノ巻  
 十二ノ段の初ノ巻  
 十三ノ段の初ノ巻  
 十四ノ段の初ノ巻  
 十五ノ段の初ノ巻  
 十六ノ段の初ノ巻  
 十七ノ段の初ノ巻  
 十八ノ段の初ノ巻  
 十九ノ段の初ノ巻  
 二十ノ段の初ノ巻  
 二十一ノ段の初ノ巻  
 二十二ノ段の初ノ巻  
 二十三ノ段の初ノ巻  
 二十四ノ段の初ノ巻  
 二十五ノ段の初ノ巻  
 二十六ノ段の初ノ巻  
 二十七ノ段の初ノ巻  
 二十八ノ段の初ノ巻  
 二十九ノ段の初ノ巻  
 三十ノ段の初ノ巻  
 三十一ノ段の初ノ巻  
 三十二ノ段の初ノ巻  
 三十三ノ段の初ノ巻  
 三十四ノ段の初ノ巻  
 三十五ノ段の初ノ巻  
 三十六ノ段の初ノ巻  
 三十七ノ段の初ノ巻  
 三十八ノ段の初ノ巻  
 三十九ノ段の初ノ巻  
 四十ノ段の初ノ巻  
 四十一ノ段の初ノ巻  
 四十二ノ段の初ノ巻  
 四十三ノ段の初ノ巻  
 四十四ノ段の初ノ巻  
 四十五ノ段の初ノ巻  
 四十六ノ段の初ノ巻  
 四十七ノ段の初ノ巻  
 四十八ノ段の初ノ巻  
 四十九ノ段の初ノ巻  
 五十ノ段の初ノ巻



小  
大  
中

田舎の  
おんな  
の  
おんな  
の  
おんな

おんな  
の  
おんな



大  
中  
小

大  
中  
小

大  
中  
小

大  
中  
小

大  
中  
小

大  
中  
小

大  
中  
小



青金ノ糸



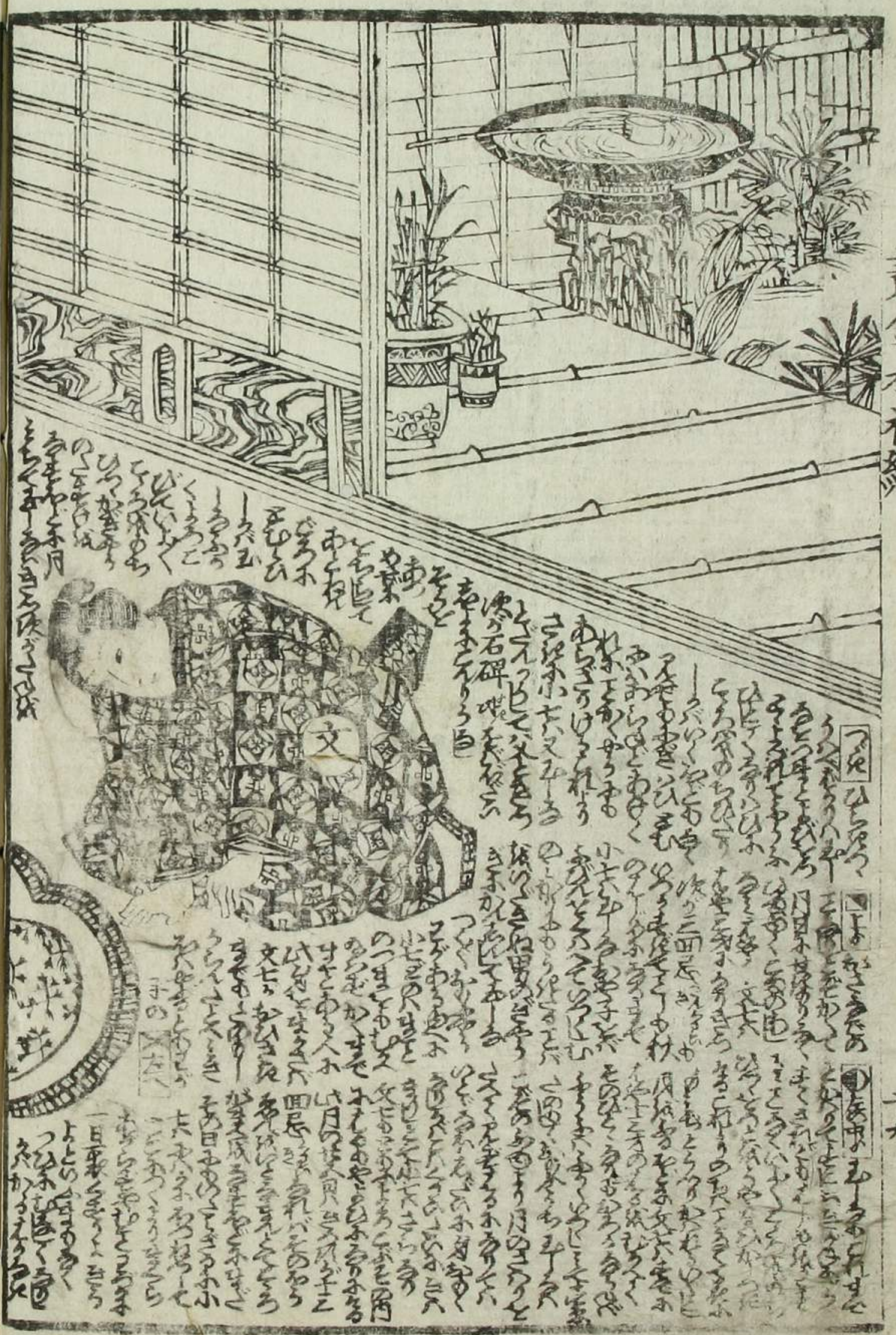
青金ノ糸





花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり

花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり  
花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり  
花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり



花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり

花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり  
花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり  
花の香気は  
室に満ちて  
静かなる  
時を待たせり



再出  
名草文七



熊野の浦影



修行者无名氏



渡水轉齋  
実の桶  
家の臣  
布志兵衛  
允の子  
幻名相壽

紀州



鬼大夫の孫女兒  
阿妙



庄官  
鬼大夫



後妻  
舟木



あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの

あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの



あつちのうらやまの

あつちのうらやまの

あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの  
あつちのうらやまの











此の物語は、昔の事だといふが、  
 今でも、山に上つて、  
 木を切つて、  
 薪を賣つて、  
 生活する人々が、  
 多くある。

山の上には、  
 木が、  
 多く、  
 切つて、  
 薪を、  
 賣つて、  
 生活する、  
 人々が、  
 多い。



此の物語は、昔の事だといふが、  
 今でも、山に上つて、  
 木を切つて、  
 薪を賣つて、  
 生活する人々が、  
 多くある。

山の上には、  
 木が、  
 多く、  
 切つて、  
 薪を、  
 賣つて、  
 生活する、  
 人々が、  
 多い。



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, surrounding the illustration.

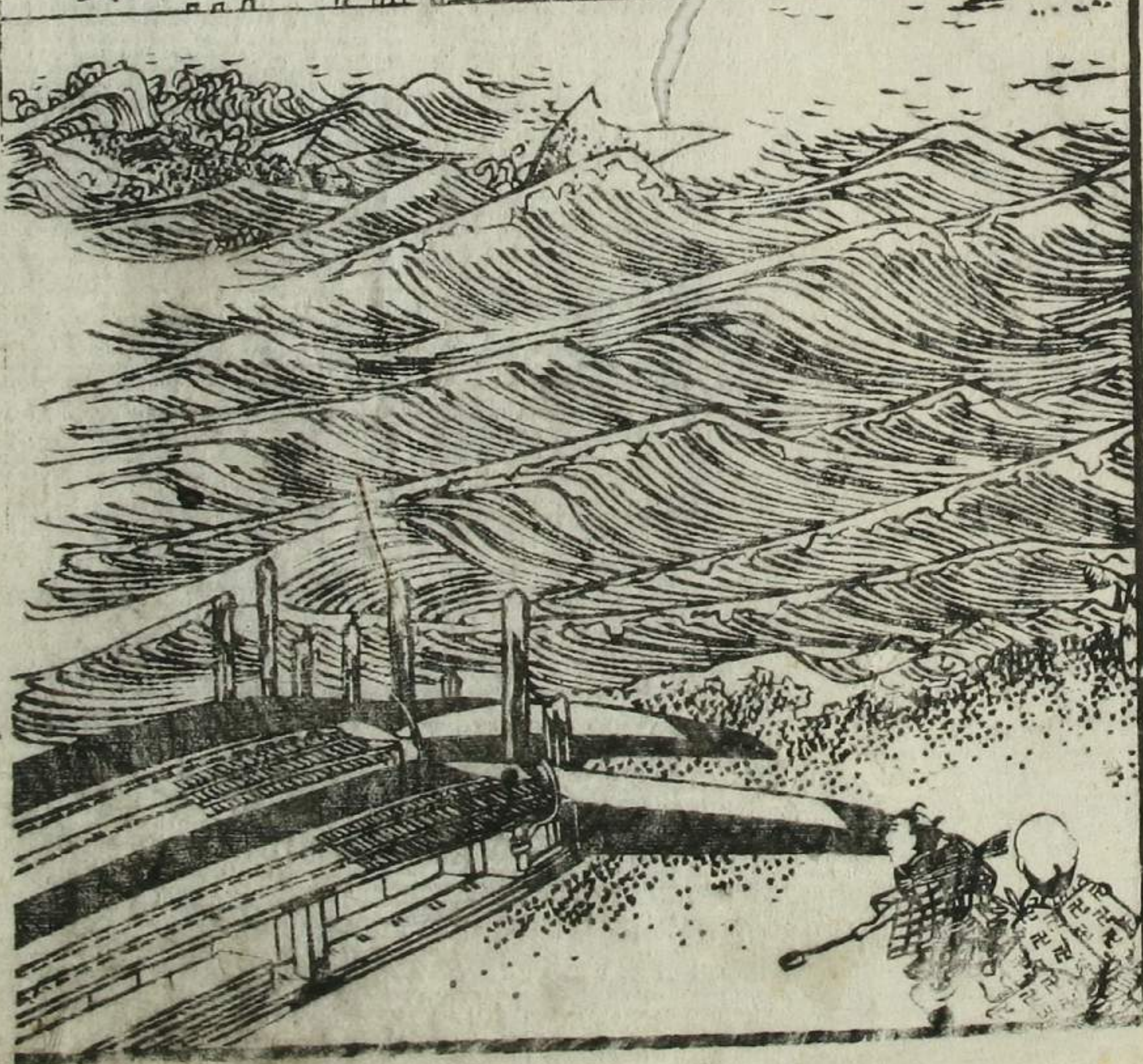


Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, surrounding the illustration.





Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is dense and covers the upper portion of the left page.

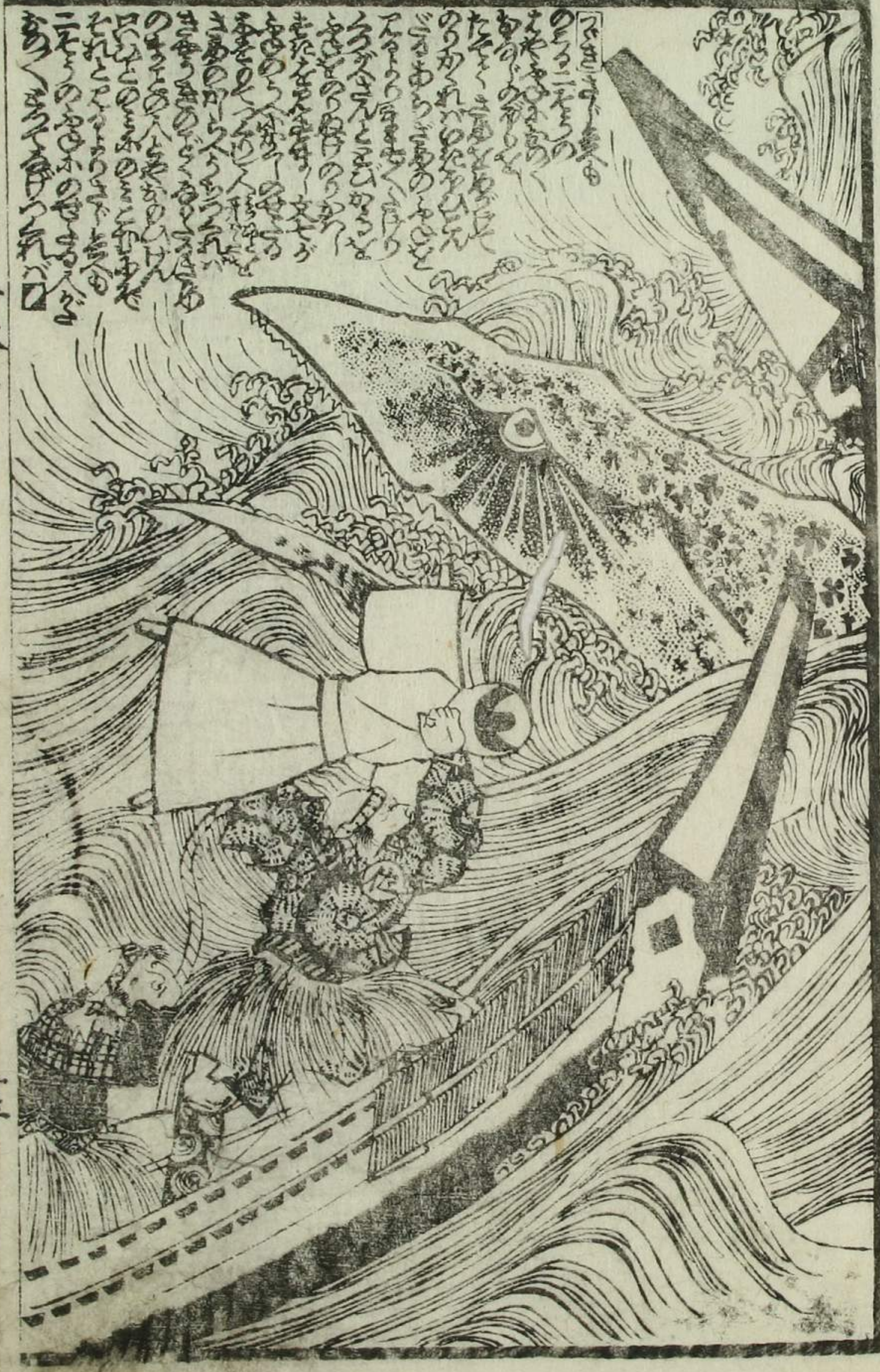


水二

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is dense and covers the upper portion of the right page.



水二



浪の音は  
舟の音と  
共に  
響き渡る  
舟の音は  
浪の音と  
共に  
響き渡る  
舟の音は  
浪の音と  
共に  
響き渡る



舟組

舟の音は  
浪の音と  
共に  
響き渡る  
舟の音は  
浪の音と  
共に  
響き渡る  
舟の音は  
浪の音と  
共に  
響き渡る





英念才二

五











十一

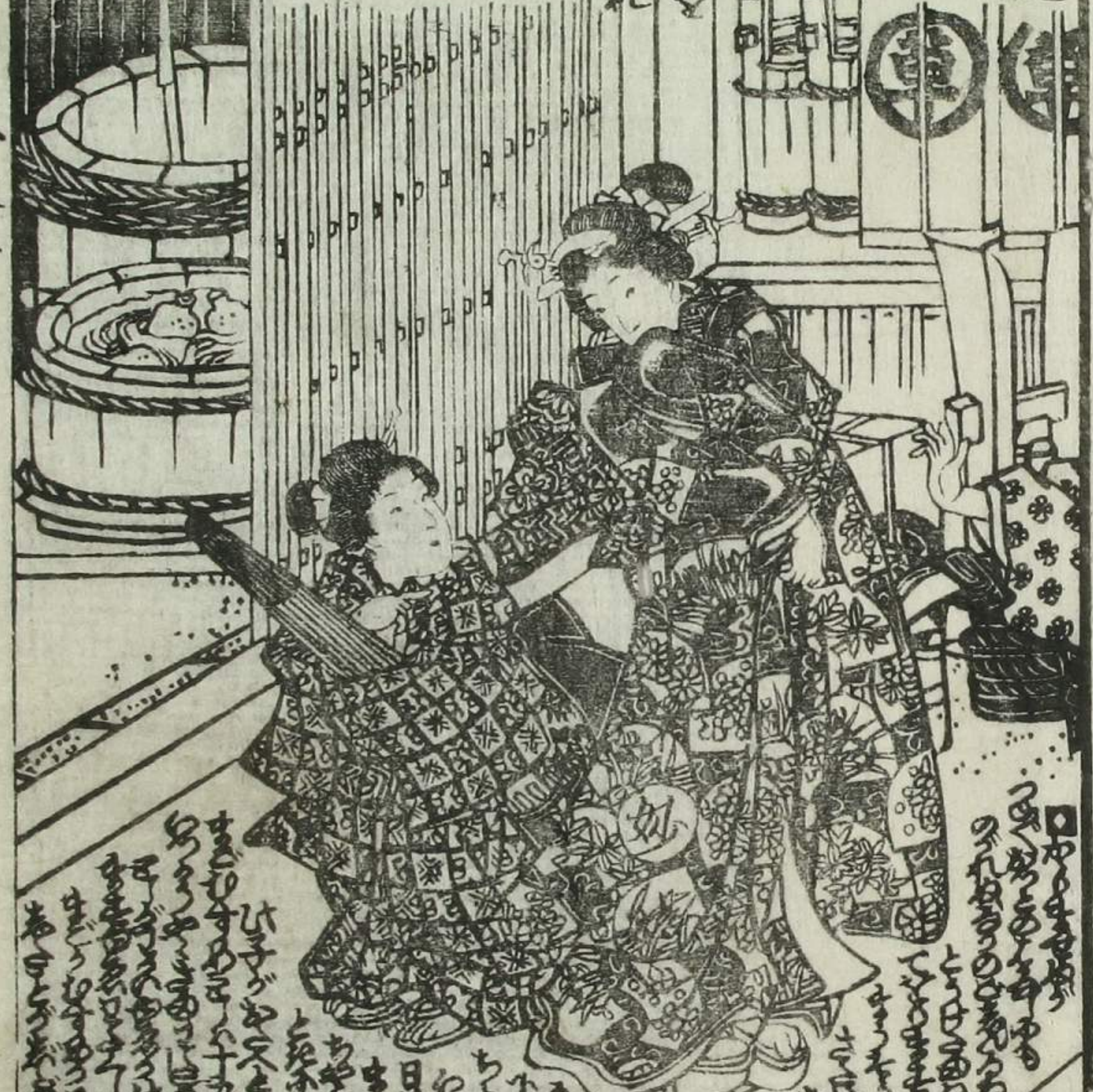
十二



十三

十四

Vertical columns of Japanese text at the top of the left page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Vertical columns of Japanese text at the bottom of the left page, providing a detailed description or commentary on the illustration above.

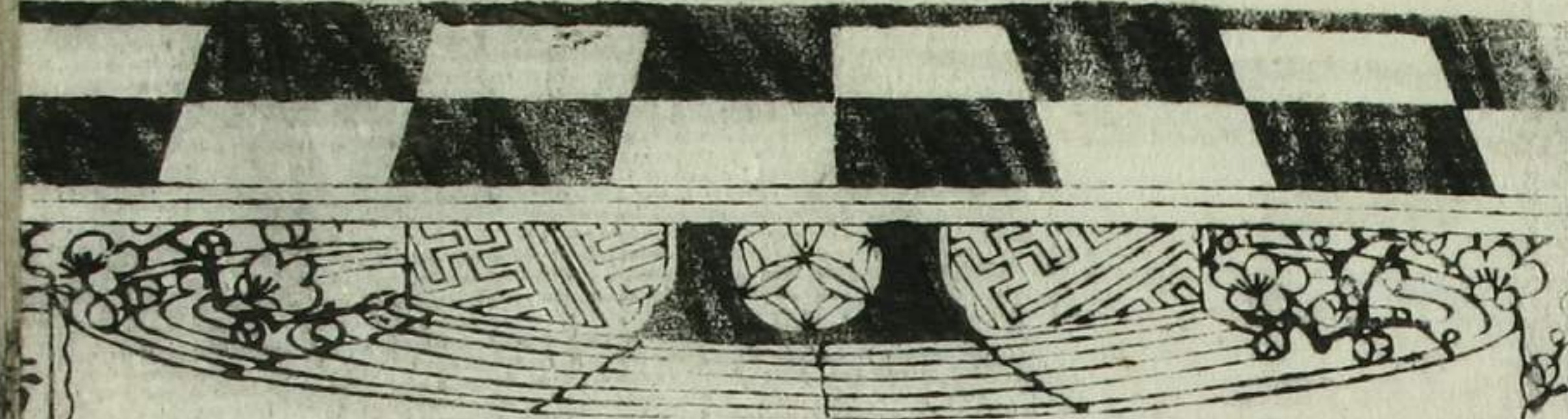
Vertical columns of Japanese text at the top of the right page, positioned above the main title and illustration.

# 陸宗水



Vertical columns of Japanese text on the right side of the right page, adjacent to the illustration.





阿妙 あまのたけな  
 節婦 せつふ  
 潤色 うるし  
 盆踊 ぼんおどり  
 鐵棒 てつぼう  
 寫 な



由良敦實 ゆらあつみ  
 同苗 どうなえ  
 年樓之助 ねろうのすけ  
 廢子 あきこ  
 姆岩代 むついわしろ



黄金 おうごん  
 三 さん  
 夕 ゆふ







いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて  
いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて  
いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて



いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて  
いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて

いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて  
いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて

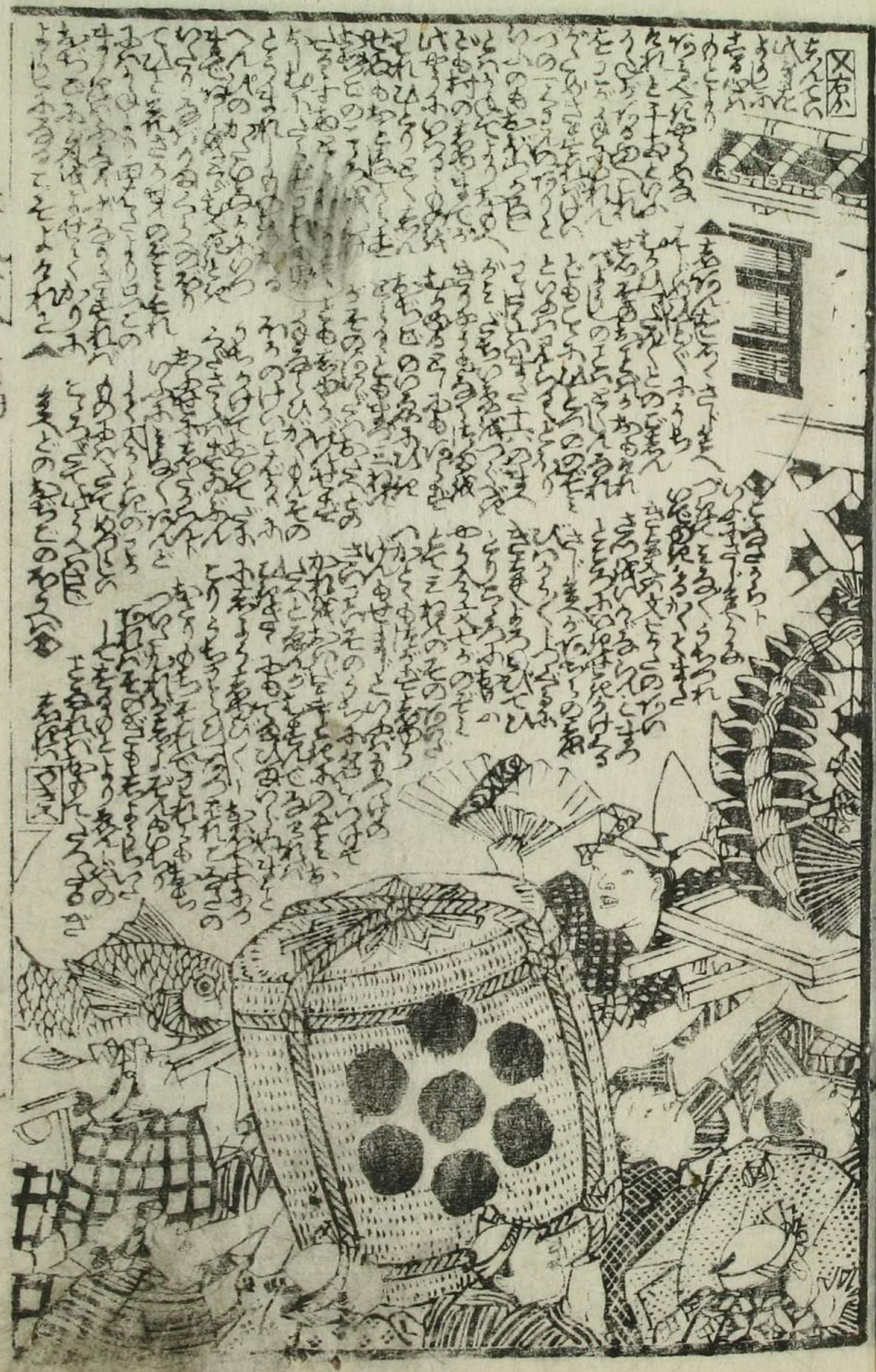


いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて  
いふはまけあひのまも  
うらみ入られその  
あま木くちあまて

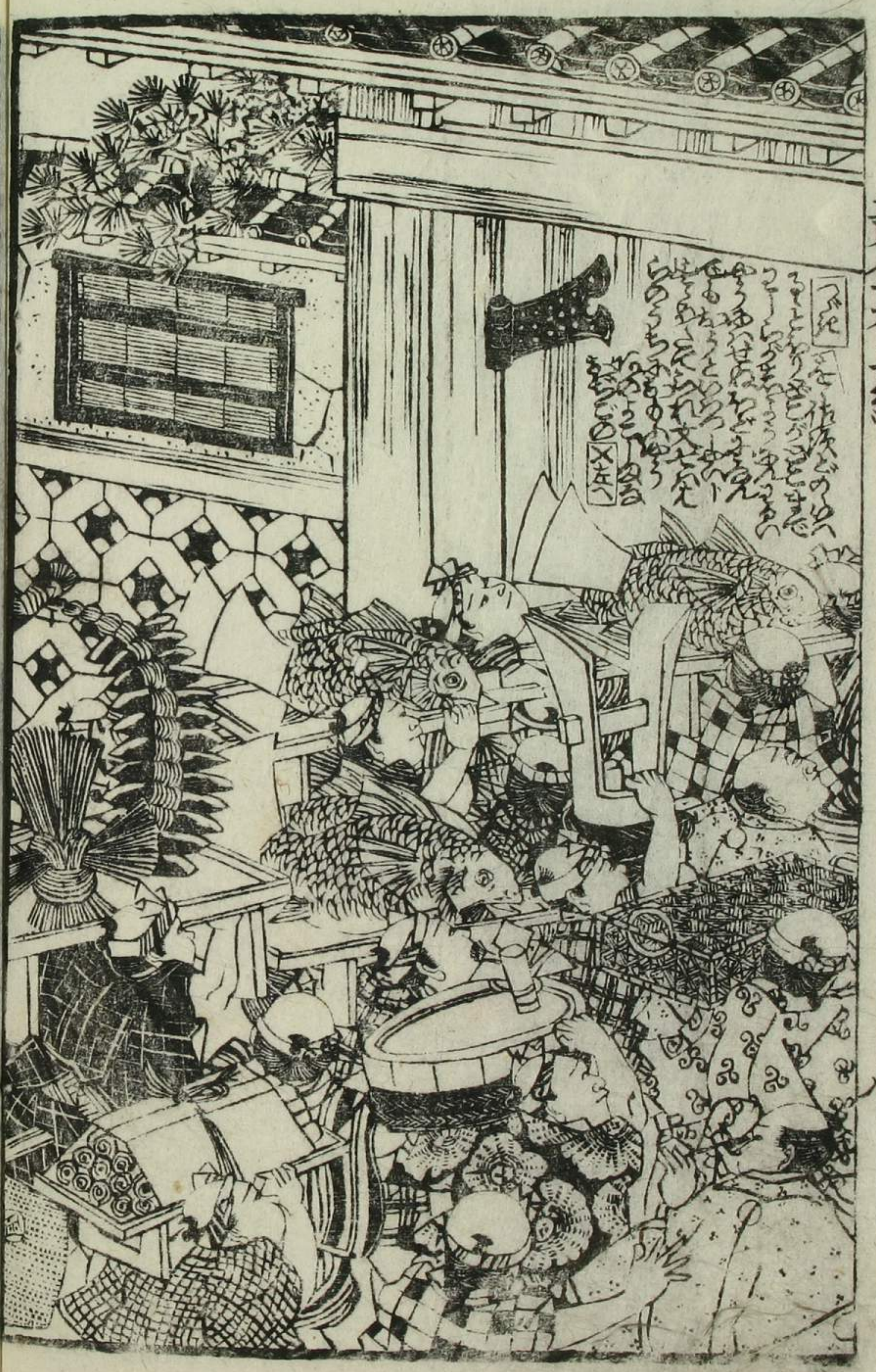








Extensive vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) are located above the illustration on the left page. The text is densely packed and covers most of the upper half of the page.



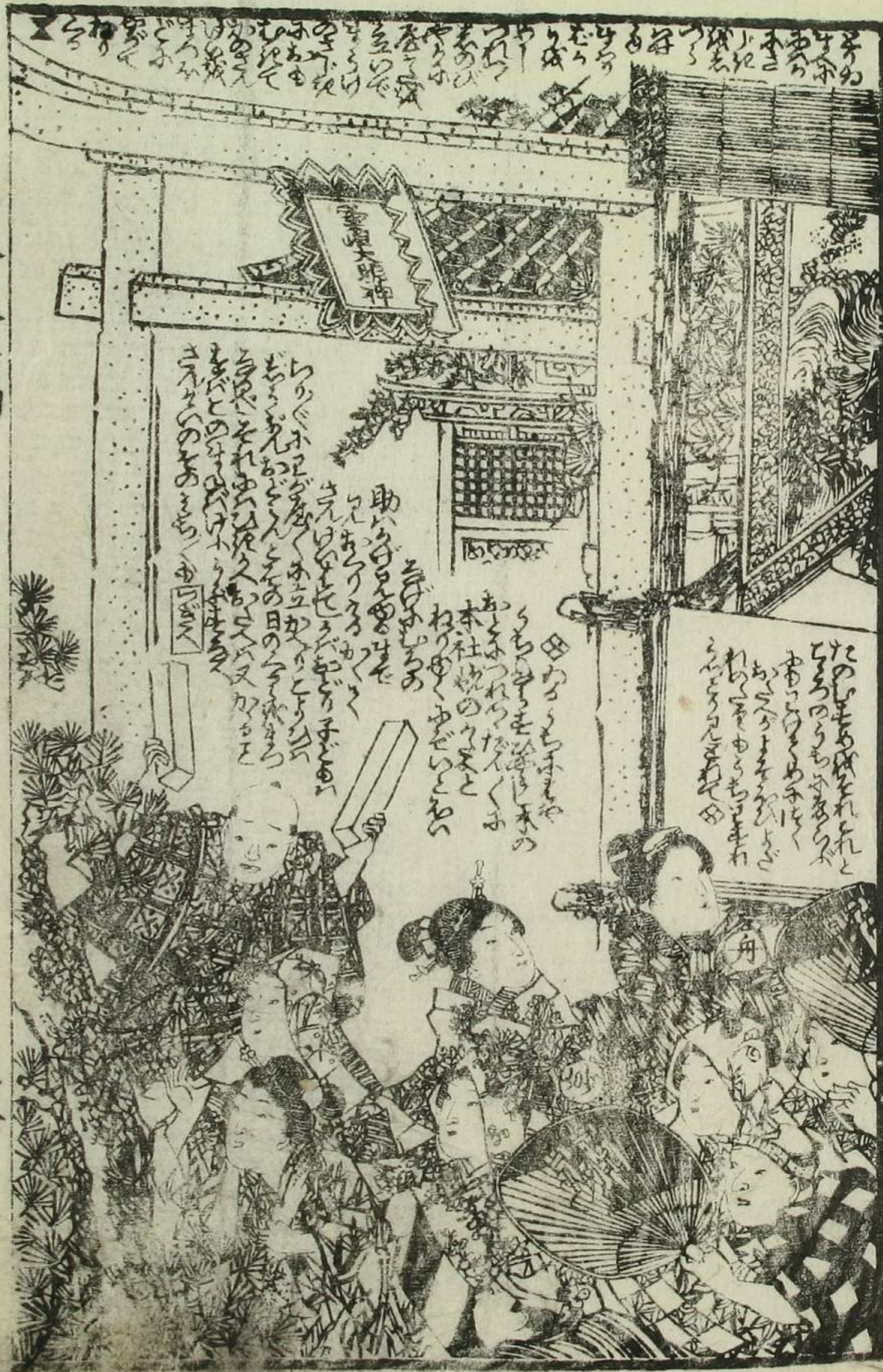
Vertical columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) are located above the illustration on the right page. The text is densely packed and covers most of the upper half of the page.

Vertical text on the right edge of the page, likely a page number or chapter title, written in a stylized font.









おのれおのれおのれおのれおのれ  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助

助の助の助の助の助の助の助の助の助の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助

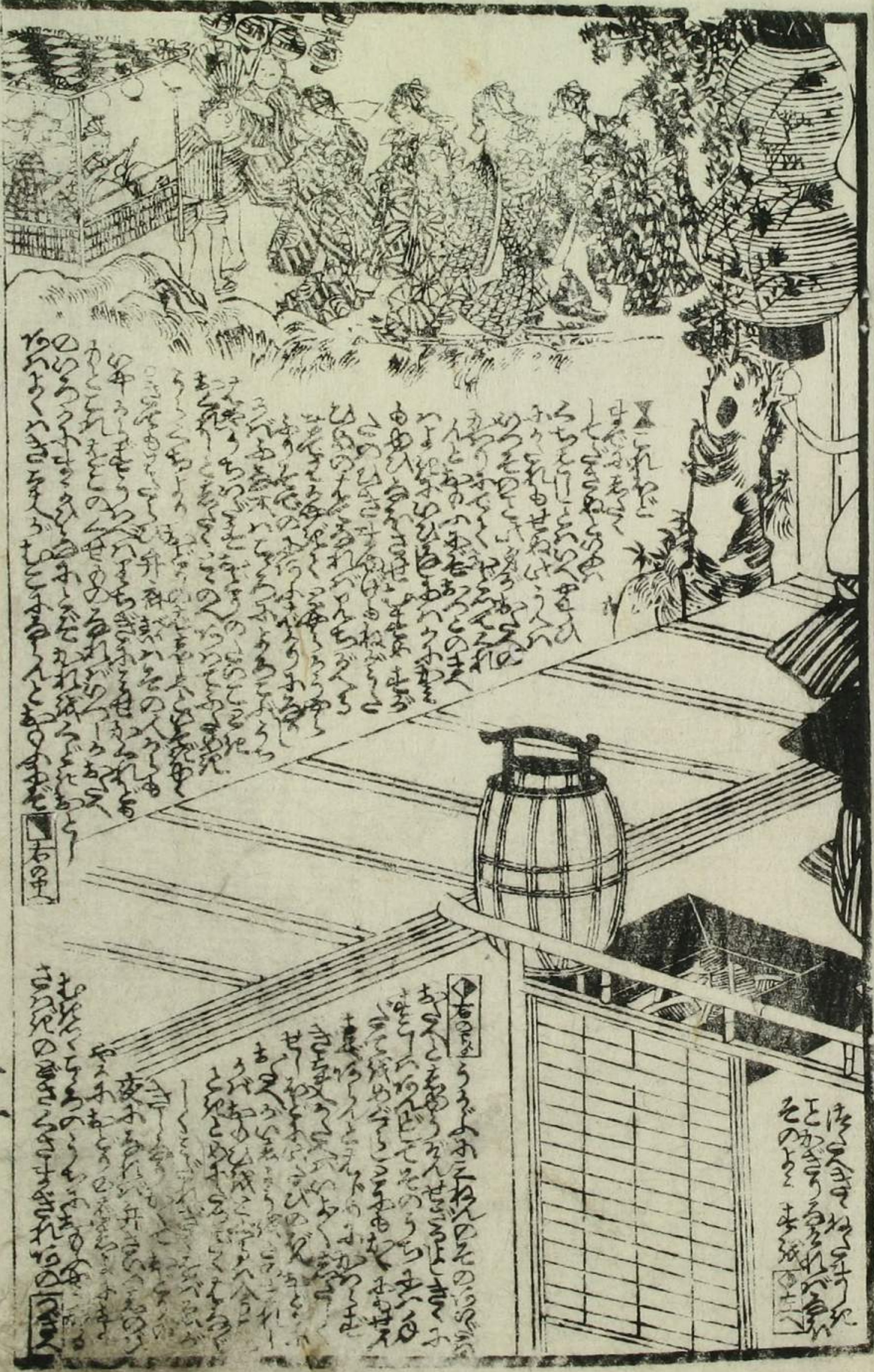
一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助



一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助

一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助  
 一の助一の助一の助一の助一の助

中村



Vertical Japanese text columns interspersed within the illustration, providing a narrative or commentary on the scene.

Additional vertical Japanese text at the bottom of the page, continuing the narrative.

Vertical text on the left margin of the page.

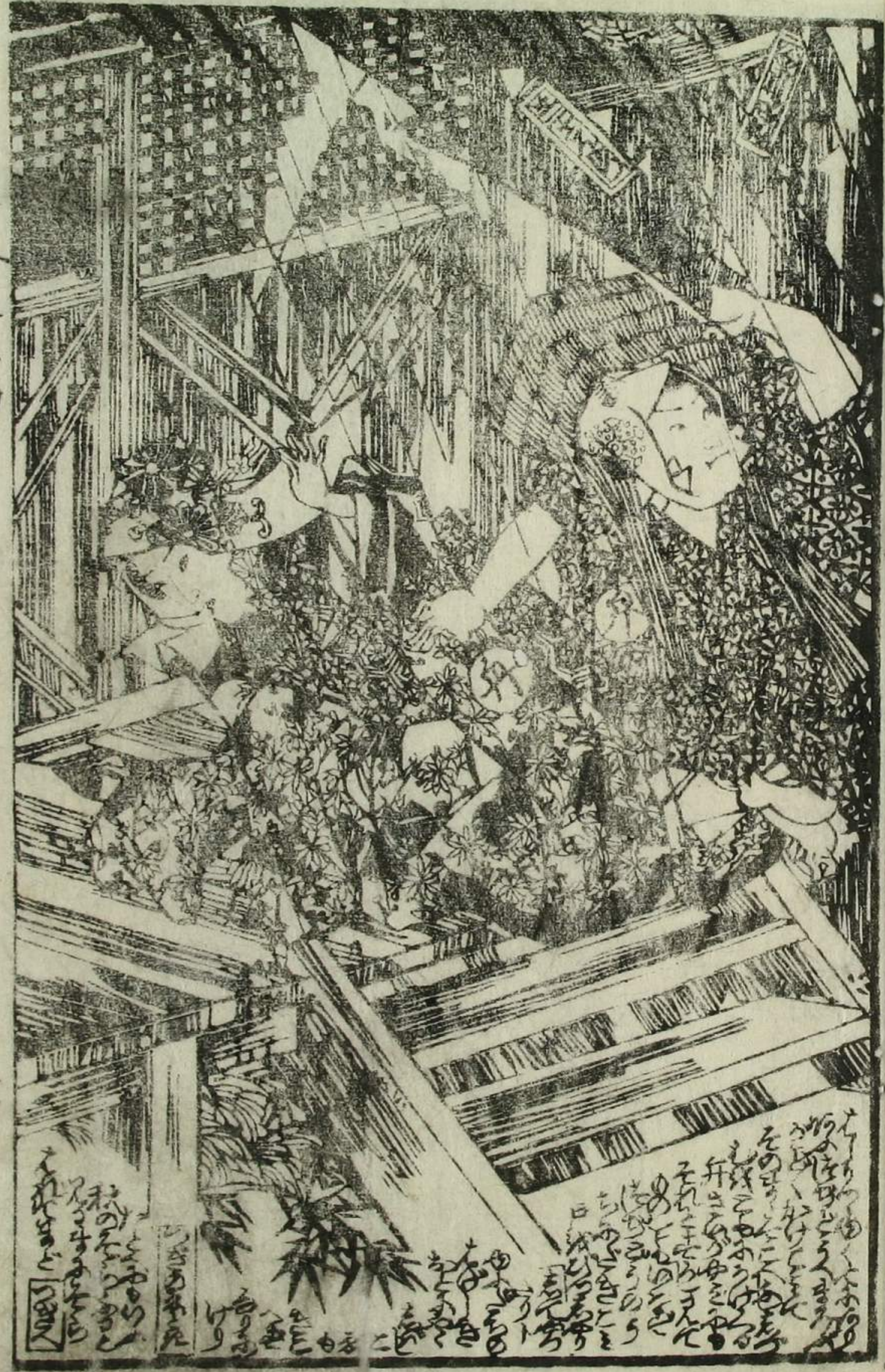


Vertical Japanese text at the top of the illustration, likely a title or introductory text.

Main vertical Japanese text columns within the illustration, detailing the scene.

Additional vertical Japanese text at the bottom of the illustration.

Vertical text on the right margin of the page.



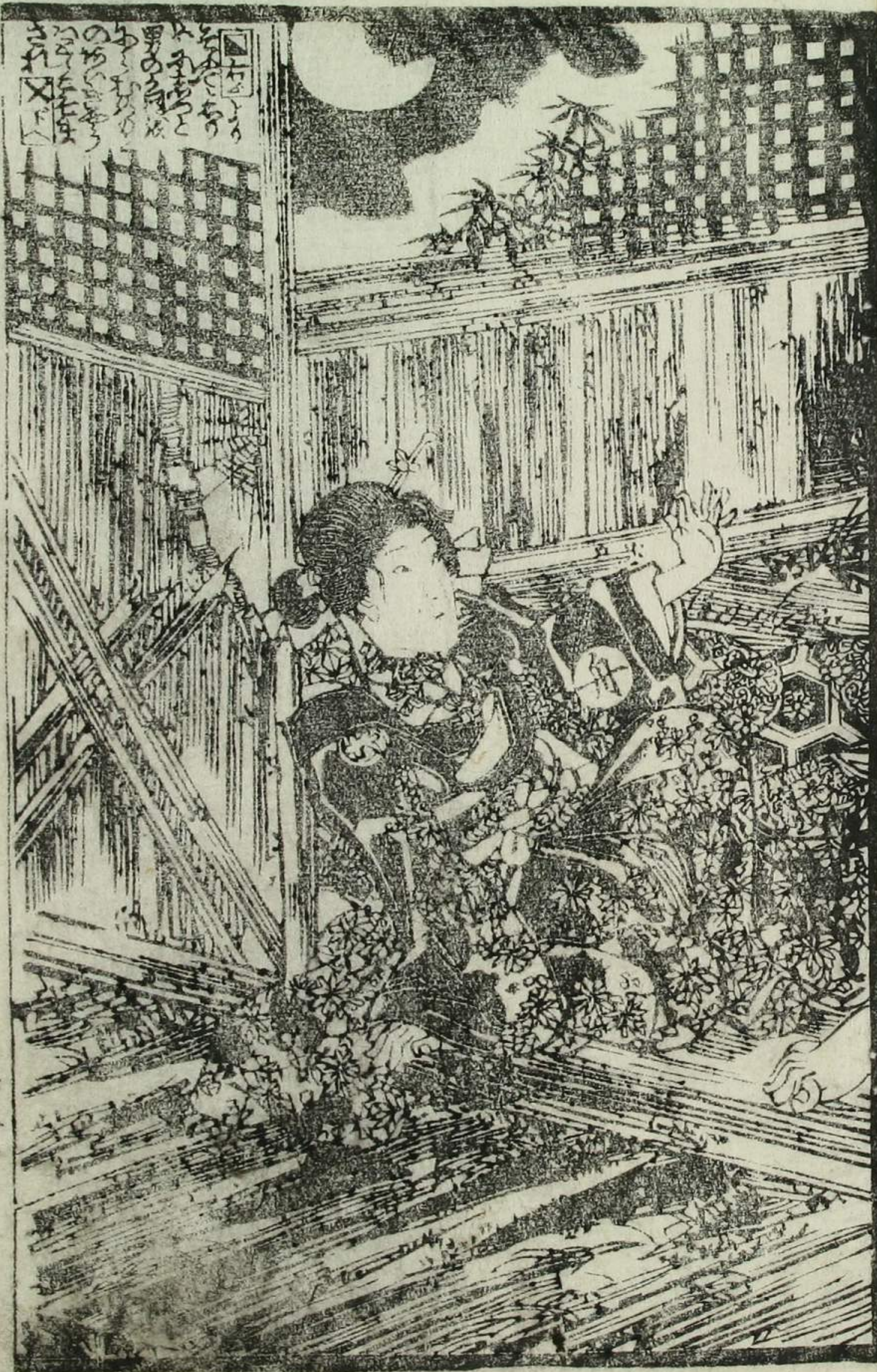
上巻 八十一

秋の夜更けの  
 庭の静けさ  
 竹の葉の  
 ざわめき  
 石の灯籠  
 の光  
 二人の  
 静かな  
 交わり  
 月影の  
 移りゆく  
 木漏れ  
 日の光  
 庭の隅  
 まで  
 静かに  
 暮れる  
 秋の夜更け



下巻 八十二

秋の夜更けの  
 庭の静けさ  
 竹の葉の  
 ざわめき  
 石の灯籠  
 の光  
 二人の  
 静かな  
 交わり  
 月影の  
 移りゆく  
 木漏れ  
 日の光  
 庭の隅  
 まで  
 静かに  
 暮れる  
 秋の夜更け



月夜に  
 女一人  
 坐す  
 窓の  
 格子  
 見ゆ  
 月影  
 照り  
 入り  
 影を  
 投じ  
 たり



賽  
 女一人  
 坐す  
 壁に  
 賽と  
 書けり  
 女は  
 顔無  
 事なり  
 何事  
 ぞ  
 あり  
 とも  
 知ら  
 ず

嘉永八年卯正月首

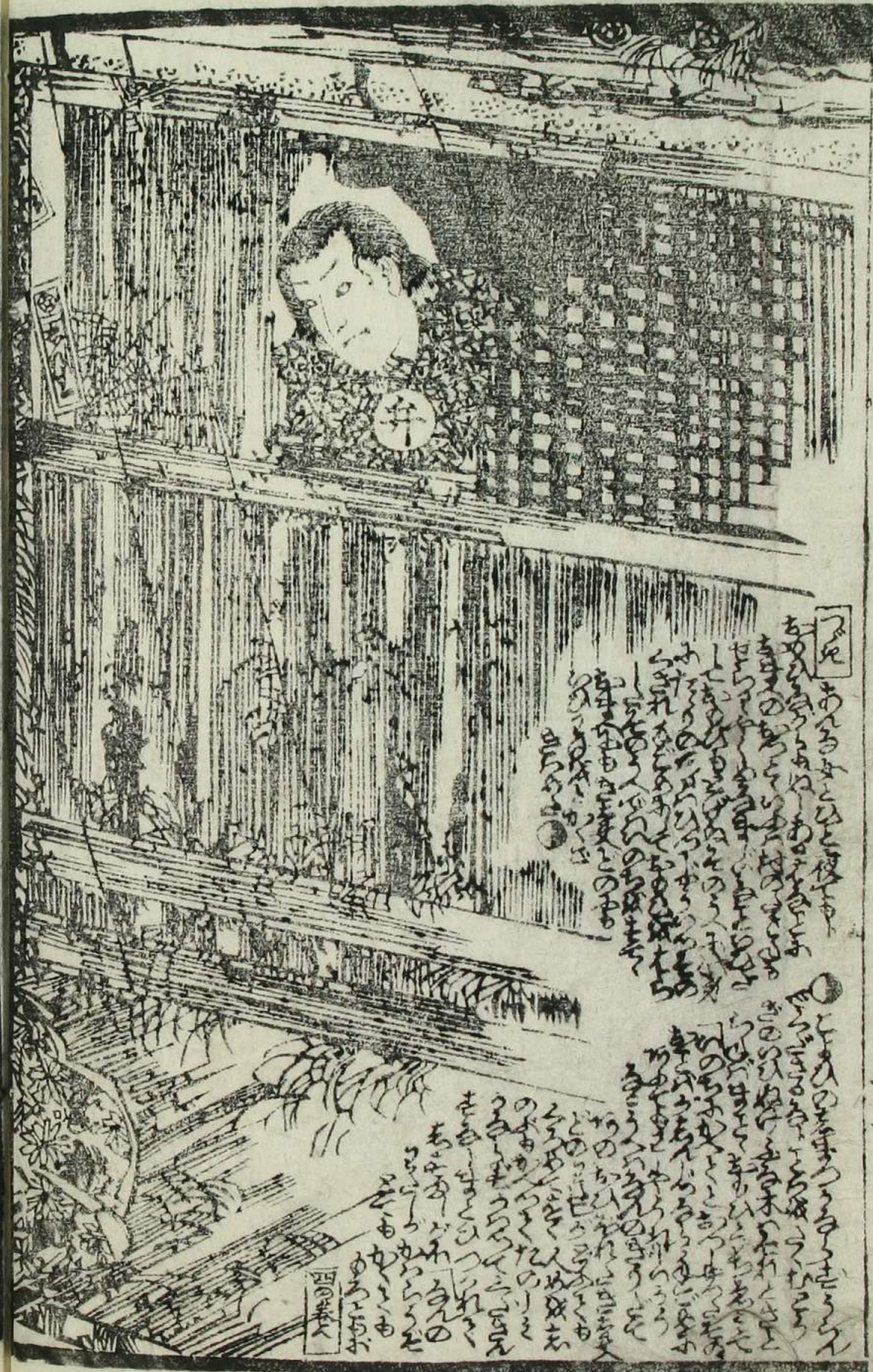
女一人  
 坐す  
 壁に  
 賽と  
 書けり  
 女は  
 顔無  
 事なり  
 何事  
 ぞ  
 あり  
 とも  
 知ら  
 ず



月夜に  
 松の影  
 風をなす  
 人の心  
 思ふは  
 花の散る  
 如し  
 涙の  
 跡は  
 石の上  
 乾かぬ

女は  
 扇を  
 開き  
 顔を見  
 返さず  
 涙を  
 拭かず  
 思ふは  
 花の  
 散る  
 如し

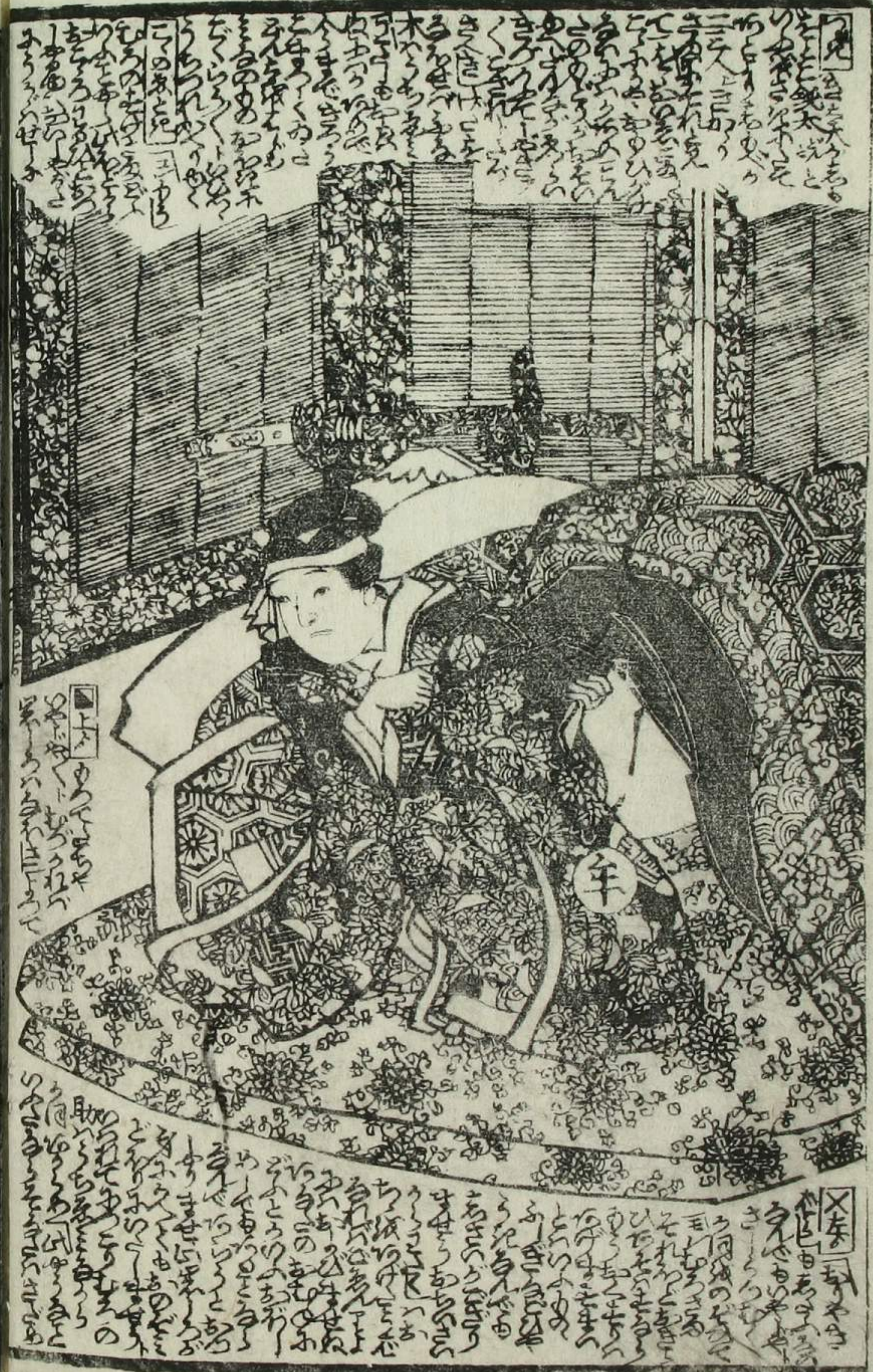
女  
 思ふ



月夜に  
 松の影

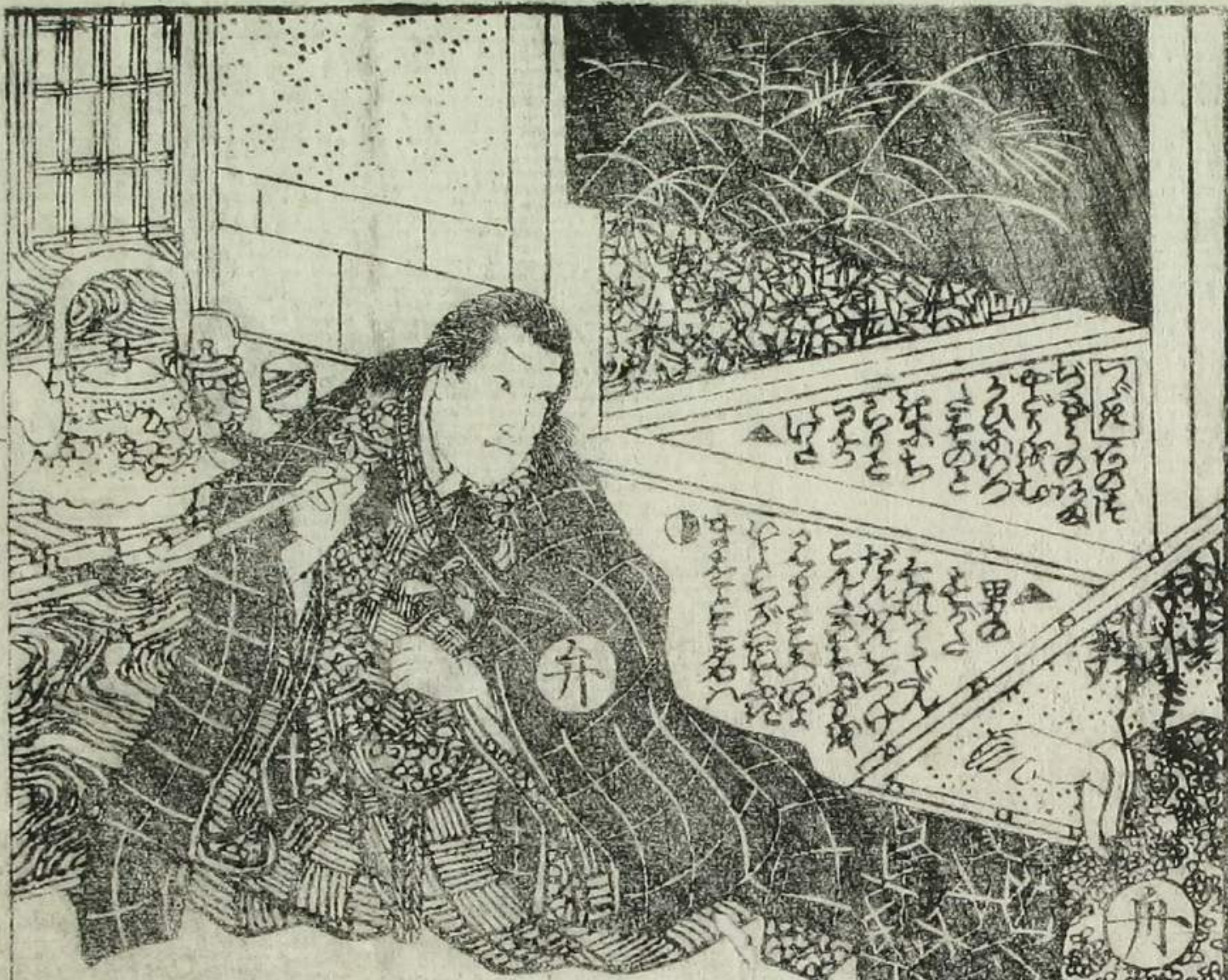
女は  
 扇を  
 開き  
 顔を見  
 返さず  
 涙を  
 拭かず  
 思ふは  
 花の  
 散る  
 如し

女は  
 扇を  
 開き  
 顔を見  
 返さず  
 涙を  
 拭かず  
 思ふは  
 花の  
 散る  
 如し

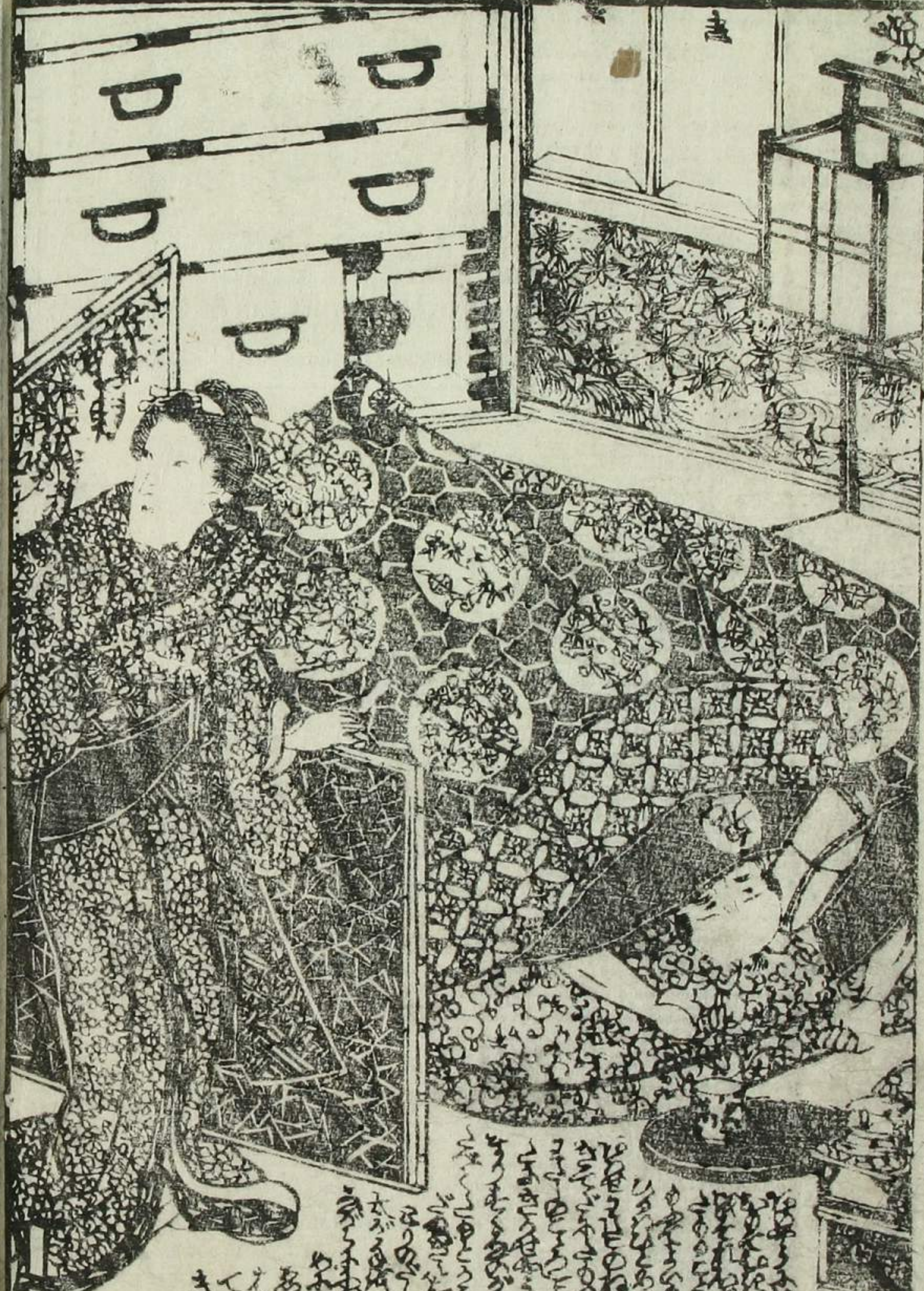


蓮金刀三編





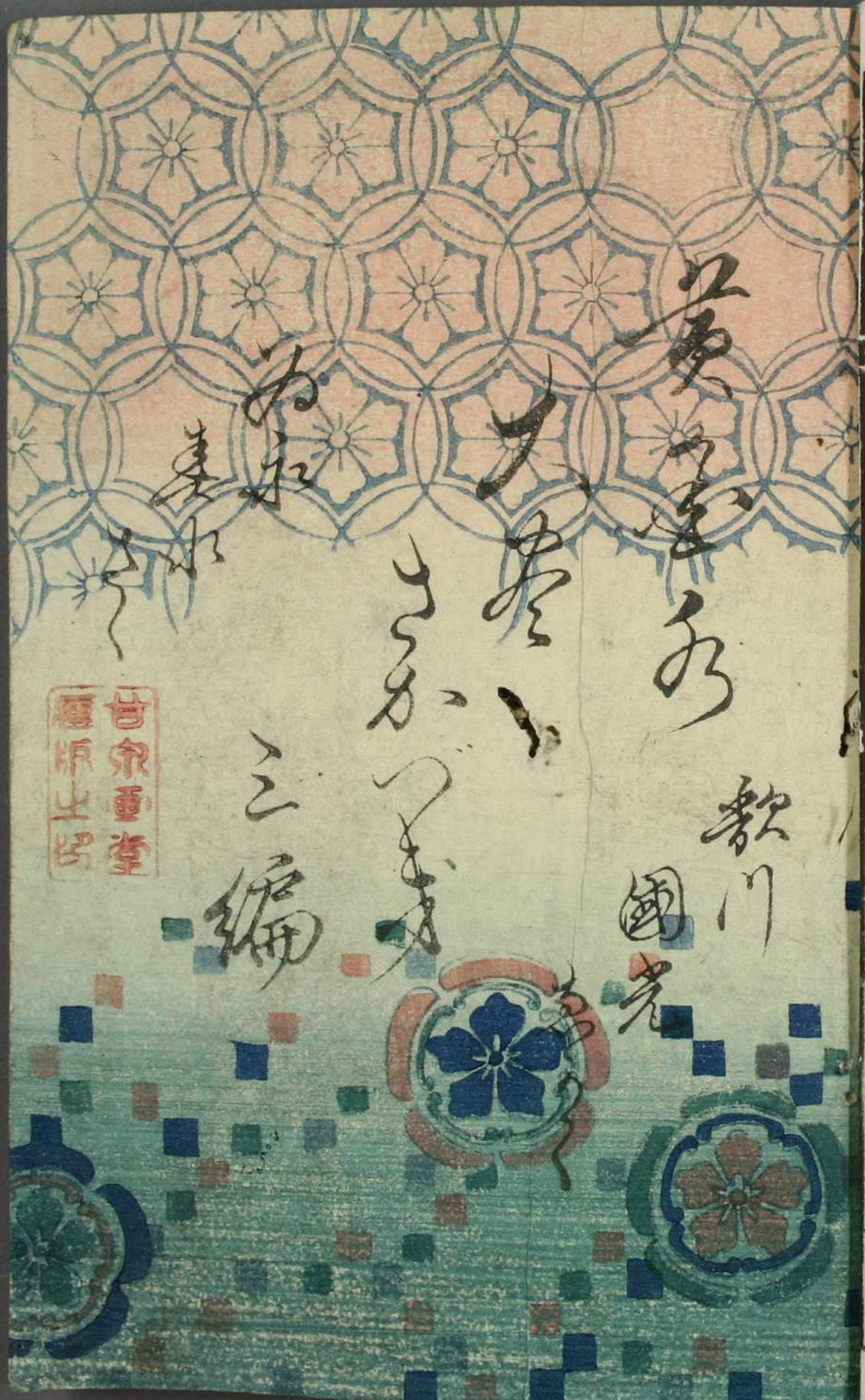
Handwritten text in vertical columns, likely a list or index of items. Includes a circular seal with the character '丹' and a small box with the character '下'.



Handwritten text in vertical columns, likely a list or index of items. Includes a circular seal with the character '丹' and a small box with the character '下'.







黄  
至  
有

教  
門

國  
光

水  
之  
編

甘泉  
重堂  
印

春水作國輝画

朝  
鮮  
牛  
肉  
丸  
一  
色  
百  
丸  
身  
可  
以  
補  
血  
氣  
壯  
身  
體  
其  
味  
美  
且  
易  
於  
消  
化  
大  
小  
均  
宜  
之  
也  
清  
崎  
氏  
製

此  
丸  
之  
味  
道  
與  
其  
他  
之  
丸  
不  
同  
其  
味  
道  
之  
美  
且  
易  
於  
消  
化  
大  
小  
均  
宜  
之  
也  
清  
崎  
氏  
製



清  
書  
青  
洲

此  
畫  
之  
意  
思  
與  
其  
他  
之  
畫  
不  
同  
其  
意  
思  
之  
美  
且  
易  
於  
消  
化  
大  
小  
均  
宜  
之  
也  
清  
崎  
氏  
製

此  
畫  
之  
意  
思  
與  
其  
他  
之  
畫  
不  
同  
其  
意  
思  
之  
美  
且  
易  
於  
消  
化  
大  
小  
均  
宜  
之  
也  
清  
崎  
氏  
製

